

マルチェロ・ナポリ ボディーパーカッション ワークショップ

主催:アニマート・グループ株式会社

効果的なアクティビティ実践のために！ DTワークのスキルアップに！

ボディーパーカッションセラピーへのお誘い

音楽を聴いていると、私たちは体を動かしたり、手拍子で歌ったり、足を踏み鳴らしたりしたくなりますよね。そんな自然な衝動や楽しさを身体や脳の活性につなげていこうというのが「ボディーパーカッションセラピー」です。

それはまさに、体をパーカッション楽器のように“たたく”という小さなアクションから始まります。このボディーパーカッションと「声」を組み合わせた”Speech Movement sound (SMS)”の概念と手法を、神経生理学、児童心理学、言語聴覚等の専門家チームとの共同研究により確立したのがマルチェロ・ナポリ氏。イタリア生まれの音楽家です。この理論に基づいた療法によって、20年以上にわたり子どもたちの音楽教育に携わってきました。

最近では、その成果を反映して、アルツハイマーなど認知症を伴う高齢者や障がい者にも療法的に実践されています。

今回のワークショップは、ニュージーランドDT協会の紹介によって実現したものです。多様なDTプログラムとして、効果的なリクリエーション、アクティビティのために、きっと新しいアイデアを拓くワークショップになることでしょう。

お誘い合わせでのご参加をお待ちしております。

■日時 2016年1月14日(木)

10:00~12:00(受付9:30~)

■会場 東京芸術劇場 B2F リハーサルルームM3

※池袋駅西口より徒歩2分

■主催 アニマート・グループ株式会社

■後援 NPO 法人 日本ダイバーショナルセラピー協会
ニュージーランド・ダイバーショナルセラピー協会

■定員 50名

■受講料 一般の方/3,000円

日本DT協会会員/2,000円

※お申し込み、お支払い方法は裏面参照

<プログラム>(予定)

○ダイバーショナルセラピーにおける五感と身体へのアプローチ

日本ダイバーショナルセラピー協会理事長・芹澤 隆子氏

○ボディーパーカッション・セラピーワークショップ

マルチェロ・ナポリ氏

☆ボディーパーカッションとは?(理論と根拠)

○質疑&フリーディスカッション



マルチェロ・ナポリ氏 プロフィール

カール・オルフの作品群であるオルフ・シューベルクを研究したイタリアの音楽学士。

これまでにフィレンツェ大学、ジェノバ大学などとの共同研究も行ってきた。カール・オルフが唱えたのは「音楽を通して自分や周りのことを知り、自分の生き方を見つけていくこと」。これを基本に、ナポリ氏は音楽教育を研究し、ボディーパーカッションと声を組み合わせた SMS(左記参照)という手法を確立した。現在、ニュージーランドのオークランドに拠点を置き、国際的に共同研究を推進し、世界にボディーパーカッションを広める活動を展開している。

ボディーパーカッションの効果を、

あなたも体験してみませんか。

☆からだで感じる心地よい刺激

☆豊かな感情の表現や自信を引き出す楽しさ

☆グループで実施するから、楽しさが増幅します！

